



TITLE:

<記事>1.概要

AUTHOR(S):

---

CITATION:

<記事>1.概要. 瀬戸臨海実験所年報 2002, 15: 2-2

ISSUE DATE:

2002-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/179009>

RIGHT:

## 1. 概 要

□平成13年度

◎職員等の移動

- ・ Sun, X. 氏を教務補佐員として受入(平成14年3月1日-5月30日)。
- ・ 藤原秀樹氏・村上知里氏が博士号取得後、退所(平成14年3月31日)。
- ・ 三瀬武史氏が博士後期課程に入学(平成14年4月1日)。
- ・ 伊谷行氏を教務補佐員として受入(平成14年4月1日)。
- ・ 下出信次氏を研修員として受入(平成14年4月1日)。

◎行事・来訪者等

- ・ 国立大学臨海臨湖実験所長会議(春季)(於お茶の水女子大学, 東京), 白山義久所長出席(平成13年4月16日-4月17日)。
- ・ 時岡隆元実験所長(京都大学名誉教授)が逝去。享年87才(9月30日)。
- ・ 研究支援者として Sun, Xutong 氏(青島海洋大学, 中国)来日(平成13年10月1日-平成14年2月28日)。
- ・ 和田洋助手が日本動物学会奨励賞を受賞(10月7日)。
- ・ 国立大学臨海臨湖実験所長会議(秋季)及び国立大学臨海臨湖実験所公開臨海実習検討会(於金沢大学能登臨海実験所, 金沢), 久保田信助教授出席(10月26日-10月27日)。
- ・ 防火訓練実施(12月17日)。
- ・ 瀬戸臨海実験所年報14巻発行(12月25日)。
- ・ 水族館休館(平成13年12月29日-平成14年1月3日)。
- ・ 水族館開館(1月4日)。
- ・ オーストリア・ウィーン大学との学術交流協定に基づく派遣研究者として、宮崎勝己助手がオーストリアへ外国出張(1月16日-2月16日)。
- ・ 運営協議会(於京都大学理学研究科)(1月22日)。
- ・ 研究補助者として奥山牧子氏(科学技術振興事業団)来所(平成14年2月1日-)。

## 2. 臨 海 実 習

□平成13年度

例年の通り、京都大学理学部をはじめ諸大学の臨海実習が下記の通り実施された。

(大学・実習科目・実習期間・受講学生数)

京都大学理学部生物系臨海実習 I	8/4-8/11	延	88人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 I	8/16-8/23	延	80人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 II*	3/12-3/18	延	84人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 III*	3/23-3/28	延	42人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 IV	8/4-8/11	延	24人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 IV	8/16-8/23	延	8人・日
京都大学院人間環境学研究所海洋化学実習	8/27-8/30	延	80人・日
京都大学院人間環境学研究所生物学臨海実習	2/22-2/25	延	64人・日
京都大学総合人間学部自然環境学科環境論実習	8/30-9/2	延	28人・日
京都大学瀬戸臨海実験所公開臨海実習(学部生対象)	3/18-3/24	延	91人・日
和歌山大学教育学部生物学臨海実習(植物)	4/9-4/13	延	90人・日
大阪千代田短期大学幼児教育科磯観察実習	5/7-5/9	延	51人・日
奈良教育大学教育学部野外実習A-II(臨海実習)	5/10-5/14	延	60人・日